

# 安全報告書 2023

この報告書は、長良川鉄道における鉄道輸送の安全確保を図る目的のために実施した結果等について公表するものです。

取組み等について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。



お問合せ先

郵便番号 501-3881  
住 所 岐阜県関市元重町74番地1  
電 話 0575-46-7420  
F A X 0575-46-8540  
メールアドレス soumu@nagatetsu.co.jp

長良川鉄道株式会社

# 安全報告書

## 【はじめに】

日頃は、長良川鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。  
また、弊社の運営に、ご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

長良川鉄道は開業依頼 37 年間、乗客の安全を第一とし、地域の基幹交通として地域に貢献する重要な役割を果たしております。

経営理念の第一に安全輸送を掲げ、法令を遵守するとともに、安心・安全な鉄道輸送を引続き心がけてまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解頂くために公表するものです。

長良川鉄道株式会社  
代表取締役社長 日置 敏明

## 1. 基本方針と安全目標

### 【基本方針】

社長及び社員は、経営理念の第一は、安全輸送である。このことを十分認識し事業活動を行い輸送の安全を確保する。

社長、役員及び社員等の安全に係る規範は、次のとおりとする。

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努める。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、忠実に職務を遂行する。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- (4) 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いに努める。
- (5) 事故・災害が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置に努める。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に努める。

### 【安全目標】

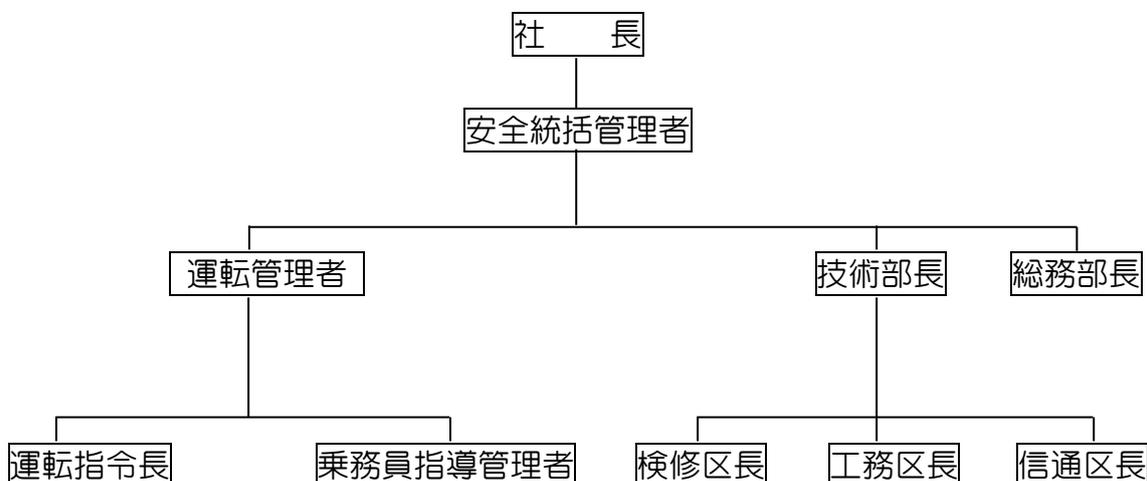
長良川鉄道では、『鉄道運転事故のゼロ』を目指して取り組んでまいります。

## 2022 年度各職場の強調項目

運転	基本動作の励行 意識ある指差喚呼で事故防止
営業	身だしなみを整え真心こもった応対
技術	作業開始・終了時は打合せ確認、連絡の徹底で事故防止

## 2. 安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の職務(責務)を明確にしています。



### 【責任者の役割】

社 長	社長は、輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
乗務員指導 管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する
技術部長	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設、車両に関する事項を統括する

### 3. 事故等の発生状況

#### (1) 鉄道運転事故

過去 5 年間の運転事故の発生と死傷者数は次のとおりです。

年 度	2018	2019	2020	2021	2022
列車事故(衝突・脱線・火災)	0	1	0	0	0
乗客の死傷事故	0	0	0	0	0
踏切障害事故	1	3	0	2	2

#### (2) 輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

設備・車両の故障等による輸送障害 6 件

降雨・台風・地震による運転規制等自然災害 13 件

火災・動物・倒木等線路内支障 8 件

#### (3) インシデント(事故の兆候)

2022 年度の発生はありません。

### 4. 安全確保のための取組み 安全重点施策

#### (1) 計画的な設備投資による列車運行の安全確保

##### 1) 老朽化した木まくら木の交換

全線で5,141本の木まくら木を交換し、レールとの締結力を強化。

##### 2) まくら木の PC 化

半径 400m以下の曲線区間17か所において、レールの軌間拡大を防止するため  
3 本中 1 本の割合で PC まくら木に交換、レール締結力強化・耐久性向上を図る。

##### 3) 落石防護設備整備

近年多発する豪雨等の災害を予防するため、のり面の強化、側溝整備を実施。

##### 4) 踏切遮断機交換

老朽化した踏切遮断機 54 機を更新。

#### (2) 社員教育・人材育成

各職場・合同訓練を含め、年間4回以上の訓練会を実施しています。

洲原駅～万場駅間の半径 400m以下の曲線区間17か所において、レールの軌間拡大を防止するため3本中1本の割合でPCまくら木に交換、レール締結力強化・耐久性向上を図り同時に軌道整備を実施しました。

【交換前】



【交換後】



#### 落石防護設備

美濃市駅～梅山駅間 18k443m～18k717m間で落石防護設備の整備を実施

【施工前】



【施工後】



## 踏切遮断機の交換

老朽化した踏切遮断機 54 機を更新

【交換前】



【交換後】



## 非常事故対応訓練

運転指令員による事故対応訓練



乗務員による避難誘導訓練



## 5. 長良川鉄道からのお願い

長良川鉄道には137ヶ所の踏切があります。その内、警報機のみ設置(第3種)踏切が17か所。警報機も遮断機も無い(第4種)踏切が29か所あります。

令和4年1月と12月、郡上市内の第3種踏切において列車と自動車の衝突事故が発生し、どちらの事故も自動車を運転していた方が亡くなりました。

踏切を渡る時は手前で一旦停止、左右の安全確認を必ずしてください。また、警報機が鳴っている時は絶対に踏切内へ入らないでください。

事故防止対策として踏切の視認性を高めるためカラー舗装を施工(道路管理者)



警報灯を全方位から確認できる  
視認性の良い物に交換

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

長良川鉄道株式会社

TEL 0575-46-7420

FAX 0575-46-8540